

## 厚労省発表「病院再編統合」に関する意見書

2019年9月26日、厚生労働省は「診療実績が乏しく、または、医療機能が類似し、かつ近接する医療機関」として、全国1455の公的病院のうち、424の病院を「再編・統合の議論が必要」と公表しました。北海道は111病院中54病院と全都道府県で最も多く、この宗谷圏域において、豊富町国民健康保険病院、中頓別町国民健康保険病院、猿払村国民健康保険病院、利尻島国保中央病院の4病院があげられました。

宗谷の各自治体・病院は、厚労省の医師偏在指数において全国335圏域中334位という深刻な医師不足の中、医師確保に努力しています。

また、広大で自然厳しい北海道・宗谷は、冬場における通院に大変な困難が強いられます。そうした中、ひとつひとつの病院が住民の命と健康を守るため懸命な努力をしているところです。

今、地域の病院が、医師・看護師不足や財政上の課題など様々な困難を抱えながらも、必死の努力を行っている中での「再編・統合」の公表は「今後、うちの病院はどうなるのか・・・」との、新たな不安を生み出しています。

道議会も昨年10月、国に対して「特定のデータ、全国一律の基準による分析によって、個別の医療機器に再編・統合の検討を求める方法は、地域の実情に対する配慮を欠き、地域の議論に停滞や混乱をもたらしかねない。医療機関が再検証した内容については地域の意向として尊重し、地域の実情を踏まえて柔軟に対応することを強く要望する。」との意見書をあげています。

### 要望事項

地域医療の充実を願い、下記の事項について、国の関係機関に要望致します。

病院の「再編・統合」にあたっては、当該自治体・病院、住民の意向を十分に尊重して頂きたい。同時に、医師・看護師不足、困難な財政運営など、地域医療が直面する課題について自治体・病院・地域住民の願いにしっかりと耳を傾け、誰もが安心できる医療体制の将来像を示して頂きたい。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和2年3月12日

北海道豊富町議会

議長 千葉 久

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣